



なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和6年 2月29日
第 22 号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数：270冊 1冊以上提出した児童数：81名 2月26日現在

極楽のクラスに！

2月の全校朝会で、「極楽と地獄の違い」について話をしました。

極楽で生活している人たちは、「お先にどうぞ」「ありがとう」という声が飛び交い、相手への思いやりの心や感謝の気持ちにあふれています。なごやかで平和な社会が築かれています。

地獄で生活している人たちは、「おれが おれが」と、先を争い、自分さえさえよければいいという考え方の人たちばかりです。当然、けんかやうばい合い、争いが絶えません。

自分たちのクラスは、極楽！？地獄！？

もうすぐ今の学年が終わり、一つ上の学年となります。クラス替えはありませんが、どのクラスも「極楽のクラス」になってほしいと願っています。そのためには、一人一人の心の持ち方、心がけが大切になるでしょう。

『健康十訓』 二木謙三 博士

- ① 食べるのを少なくし、噛むのを多くせよ。
- ② 車に乗るのを少なくし、歩くのを多くせよ。
- ③ 着るのを少なくし、浴びるのを多くせよ。
- ④ 心のもだえを少なくし、働くことを多くせよ。
- ⑤ 怠けることを少なくし、学ぶことを多くせよ。
- ⑥ 語ることを少なくし、聞くことを多くせよ。
- ⑦ 怒ることを少なくし、笑うことを多くせよ。
- ⑧ 言うことを少なくし、行うことを多くせよ。
- ⑨ 取ることを少なくし、与えることを多くせよ。
- ⑩ 責めることを少なくし、ほめることを多くせよ。

2月の全校朝会

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校

～ 利 他 の 心 ～

極楽（ごくらく）

- お先にどうぞ
- 相手への思いやり
- ありがとう
- 感謝の気持ちを返す

なごやか
平和な社会

心の持ち方

- 自分さえよければいい
- おれが おれが

けんか
うばい合い
あらそい

地獄（じごく）

健康十訓

今年度は、コロナ感染、風邪やインフルエンザ感染が流行し、2度の学校閉鎖を行いました。学年閉鎖も例年よりも多かったのではないのでしょうか。令和5年度最後の月（3月）は、心身ともに健康な状態で毎日を送りたいものです。

左の『健康十訓』を参考にしていたけると幸いです。

ゲストティーチャーから学ぶ！

『餅は餅屋』という言葉あります。物事にはそれぞれ専門家があり、素人はとてもかなわないということです。(旺文社 国語辞典) 本校が重視する「6つのふれあい体験活動」のひとつ、「本物」とのふれあいにも通じるものだと思います。2月15日、サッカー教室(1～3年生対象)と梨の学習(5年生対象)にゲストティーチャーを招いて、その道のプロから指導をいただくことができました。【サッカー教室：埼玉県サッカー協会指導員 様／梨の学習：相川 崇樹 様】



足でボールをコントロールする感覚を楽しみながら高める。(1年生)



運動量が豊富なゲームで、一人一人がサッカーの楽しさにふれる。(2年生)



3つのこと(逃げる・追いかける・助ける)を意識しながら鬼ごっこ。(3年生)



体験だけでは学べない梨の栽培について、じっくりと学習することができました。(5年生)



体験談を語る山下町長(6年生)

は、何をしているのでしょうか。歴史小説家・吉川英治さんの言葉『我以外皆我師』(われいがいみなわがし) 自分に関わる人や物事、見聞きしたことは、全て自分に何かを教えてくれる師ととらえて謙虚に学ぶ姿勢を大切にしたいものです。

2月20日(火)、「ぼくの夢 わたしの夢」というテーマの授業の中で、山下町長が自身の体験等にもとづいた話をしてくださいました。

小学校卒業が目前に迫ったこの時期に、将来の夢や職業について考えてみるのも価値あることかと思えます。今、自分で描いている夢(職業)が変わっていくこともあるでしょうが、夢を持つことが、これからの人生を力強く生きていくための心の支えとなってくれることなのでしょう。10年後の6年生